

西サハラのこと、知っていますか？

アフリカ最後の 植民地といわれる

西サハラ

(サハラウィ・アラブ民主共和国)

「アフリカ最後の植民地」と呼ばれる西サハラは、モロッコやアルジェリアと隣接するアフリカ北東部にある、日本の本州の約 1.2 倍という広大な地域で、約 60 万人が暮らすとされています。

1975 年、隣国モロッコがスペインからの独立する過程でモロッコ軍に侵略され、現在も 80% が占領されています。モロッコはイスラエルの支援のもと、約 2700 ㎞にわたって「砂の壁」を建設し、サハラウィ（サハラの人びと）を占領地から追いだし、10 万人以上がアルジェリア東部の難民キャンプで暮らしています。また、モロッコの占領下で暮らすサハラウィは非暴力の抵抗運動を続けています。

国連は 1991 年に自決権行使のための住民投票の実施を決めましたが、モロッコのサボタージュと米・仏などの思惑によって実現していません。モロッコは独立運動を厳しく弾圧し、モロッコ人を移住させてサハラウィを周縁化しています。そして西サハラで不法に採掘するリン鉱石や西サハラの海でとれるタコを、日本を含む世界に輸出しているのです。日本で流通している冷凍タコの約 7 割はモロッコ産で、その半分は占領地での収穫によるとされています。



写真左からサナさんとベンジャミンさん

スウェーデンの人権活動家、サナ・ゴトビ (Sanna Ghotbi) さんとベンジャミン・ラドラ (Benjamin Ladraa) さんは、西サハラの問題を全世界に訴えるため、現在、日本国内を自転車で縦断しています。8月29日～9月1日には来仙する予定です。サナさんベンジャミンさんをゲストに迎え、一緒に西サハラについて考えてみませんか？

もっと詳しく知りたい方は

『西サハラ友の会』HP をご覧ください

<https://fwsjp.org/>

< 映画上映 & 講演 >

日時：8月30日(水) 18:30～

会場：仙台市戦災復興記念館・第4会議室

参加費：500円(大学生以下無料)

西サハラの実情をとらえたドキュメンタリー映画

『銃か、落書きか』(2016年、スペイン制作、52分)



問い合わせ：斎藤 (090-5843-4702 / t.saito1981@gmail.com)